



古賀市議会議員

伊東ようこ活動リポート

あなたの声をお寄せください

発行 2022/1

2021年 9月議会

一般質問

公園管理などで、やむなく農薬を使用する場合のマニュアルが必要では？

地域の公園や空き地を管理するには、住民の人手や体力が必要です。高齢化が進む中、除草剤や殺虫剤をやむなく使用する場合があります。



提案しました!

事前周知の回覧板や現場の注意書きなど、住民を健康被害から守るための工夫をマニュアル化し市民と共有する事が必要と考えます。

市長の回答

国が示すガイドラインを踏まえ、市民へも使用方法や飛散防止など周知に努めるなど、周辺に配慮してもらうよう啓発する。

古賀市 令和2年度 決算

一般会計

歳入 296億982万円

歳出 279億8945万円

決算に賛成しました!

- ・新型コロナウイルス感染症について、随時、補正予算による迅速な取り組みで感染対策や支援を行いました。
- ・産前・産後支援事業くるサポ訪問で、SOSを出しやすくするための新規事業が始まりました。
- ・古賀北中学校の全面改修に際しては子ども達からの意見や要望を丁寧に聞き取り反映しました。

指摘しました!

発達ルームが民間委託となって初年度決算です。子どもと保護者の悩みに寄り添ってきた子ども発達ルームが、今後もその役割を十分に発揮できるよう市と事業者でより一層の連携が必要です。

今年度決算の特徴は新型コロナウイルス感染症対策費

合計 72億6158万5千円

- ・市民ひとり10万円特別定額給付金 60億1781万円
- ・小中学校ICT化推進事業費 4億2349万円
- ・ひとり親家庭経済的支援事業費 1億4336万円

請願 賛成しました!

「少人数学級の推進」と「義務教育費国庫負担制度の拡充」を国の関係機関に求める意見書

国は、小学校の学級編成基準を5年間で40人から35人に引き下げること決定。中学校の少人数学級の推進、教職員数の改善と人材確保を求めます。

2021年 12月議会

一般質問

公共施設の廃止・機能移転が計画されています！市民への影響は？

国は、地方財政の健全化を目的に、公共施設等の統廃合、再編を進めるよう「公共施設等総合管理計画」の策定を市に求めています。

古賀市は、今後40年間で公共施設の20%の床面積を圧縮していくことを目標に「第1期アクションプラン(案)」を策定しました。千鳥苑・市民体育館・米多比児童館など、8カ所が廃止を含めて検討の対象となりました。



毎月1回の「リラククス体操」千鳥苑は、高齢者をはじめ多世代の市民の活動や居場所として定着しています。
画像提供・千鳥苑 Facebook

提案しました!

この計画を市民に周知し、公共施設の廃止・機能移転・機能分散については、施設利用者をはじめ市民参画で計画を策定すべきと考えます。

市長の回答

機能移転・機能分散によって、今よりも使いやすいより便利な公共サービスを目指している。市民の声を活かす機会を設けるよう検討する。

コロナ禍は終わらず！子どもの見守り事業継続を!

古賀市はコロナ対策として「支援対象児童等見守り強化事業」を1年間と定め実施しました。コロナ禍はまだ終息していません。引き続き、子どもと保護者を守るため事業継続を求めました。

市長の回答

次年度以降の子どもの見守りの在り方については、当初予算編成の中で検討している。

注目 議案

病後児保育

令和4年4月から、ししび保育園「おひさまルーム」は無くなりますが、こでまり小児科「ここん・こが」で利用できます。

補正 予算

AI(人工知能)オンデマンドバス3台購入 1,710万円

AIオンデマンドバスは、決まった運行ルートがなくAIが予約状況に応じて運行ルートを考えながら走る乗り合いバスです。令和4年10月より花鶴丘・日吉台で実証実験が始まります。

注目 文教厚生 委員会

5歳~11歳の新型コロナワクチン接種

国は、接種開始を令和4年2月以降としています。保護者が、子どものワクチン接種をより慎重に判断できるよう、古賀市に丁寧な説明を求めています。